

## ハスモンヨトウの発生に注意！

(対象作物：野菜)

中濃および東濃地域のナス・トマトほ場に設置したフェロモントラップにおける、7月第I半旬～7月第VI半旬の累計誘殺数は、中濃地域（可児市）で590頭（平年109頭）、東濃地域（恵那市）で164頭（平年44頭）と、それぞれ平年の5.4倍、3.7倍と非常に多くなっています。

向こう1カ月の気象予報（名古屋地方気象台 8月3日発表）によると、気温は高く降水量は平年並で、今後は本虫の増殖に好適な条件が続くと見込まれ、被害の拡大が懸念されますので、ほ場内をよく確認し、発生が多い場合は若齢幼虫のうちに薬剤防除を実施してください。

また、県内の一部地域では、薬剤に対する感受性が低下した個体群が確認されています。薬剤抵抗性の発達を防止するため、使用する薬剤は異なる系統のものを用い、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

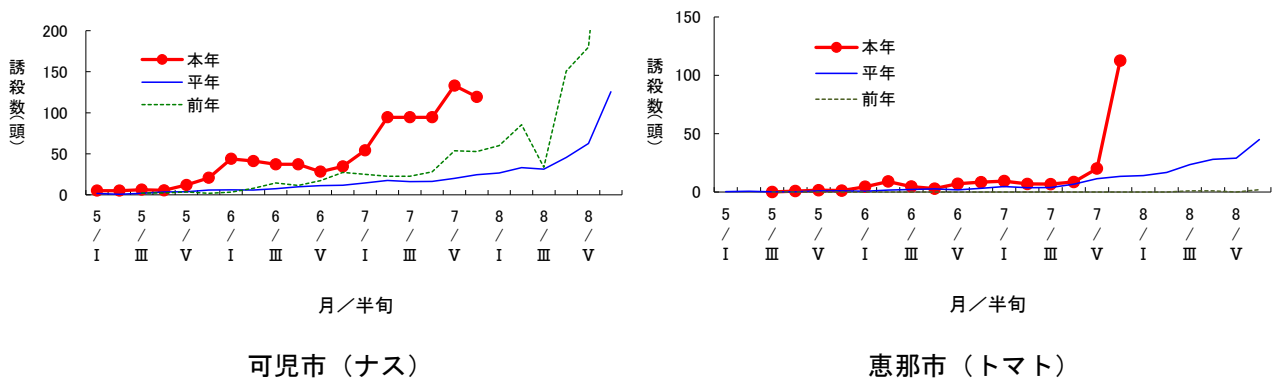


図 各地域に設置したフェロモントラップにおける誘殺数の推移

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。  
農薬登録情報提供システム  
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。  
岐阜県病害虫防除所  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>